

令和3年10月31日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

奈良県第3区

選挙公報

奈良県選挙管理委員会

たのせ たいどう 太道

1974年7月4日 五條市に生まれ育つ
現在橿原市欽傍地区に在住 47歳
【学歴】五條市立五條中学校卒
西大和学園高等学校卒
早稲田大学第二文学部卒
【趣味】登山 読書 音楽鑑賞 柔道3段
【家族】妻と子ども4人の6人家族

プロフィール

【経歴】衆議院議員田野瀬良太郎 秘書(1997年10月~2012年10月)
社会福祉法人愛誠会 理事長(2010年12月~2016年8月)
社団法人橿原青年会議所 理事長(2012年1月~12月)
衆議院議員初当選(2012年12月)
衆議院議員2期目当選(2014年12月)
文部科学大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官(2016年8月~2017年8月)

自由民主党国会対策委員会 副委員長(2017年8月)
第48回衆議院議員総選挙 3期目当選(2017年10月)
衆議院予算委員会(2018年10月)
衆議院議院運営委員会 理事(2019年10月)
文部科学副大臣・内閣府副大臣(東京オリパラ担当)(2020年9月)
衆議院財務金融委員会 委員(2021年2月)

声をかたちに。
信頼ある政治で
未来共創



たのせ太道
たいどう

『コロナ対策』

●医療難民ゼロ

国・自治体に与えられた機能をフル活用し、病床、医療人材の確保を徹底。

●ステイホーム可能な経済対策

家賃支援給付金、持続化給付金など、事業継続支援を実施。子育て世帯、学生等への給付金支給。

●電子的ワクチン接種証明の活用と検査の無料化・拡充

無料PCR検査所の拡大と学校現場等での定期的検査の実施。

- 11月中に希望者全員のワクチン接種を実施
- 国産ワクチン、治療薬の開発を強力に支援
- 抗体価の低下に備え、3回目のワクチン接種を準備

『地方創生』

地方が原点。地方の復活へ積極的に投資

●京奈和自動車道をはじめ、幹線道路整備を強力に促進します。

●5年間15兆円規模の投資で国土強靱化を図ります。

●観光地復活に向けた観光業支援。歴史・文化資源への支援強化を促進します。

●基幹産業である農業・林木材業の成長産業化で里山に活気を取り戻します。

●子どもは国の宝です。幼児教育・保育の充実、ICTを活用し個別最適な学びへと転換し、「誰一人取り残さない」教育を実現します。

「投票はあなたの声です」

加藤 たかし

比例はNHK党

「一票で社会が変わります」



NHK党
加藤
たかし



つなげよう あなたの思い 一票で

投票日

10月31日(日曜日)

投票時間は、午前7時から午後8時まで(※一部地域を除く)

期日前投票・不在者投票は

10月30日(土)まで (原則：午前8時30分~午後8時)

令和3年10月31日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

奈良県第3区

選挙公報

奈良県選挙管理委員会

4つのチェンジ

1 いのちと暮らし最優先に

- 高齢者の医療負担増中止
- 病院のベッド削減計画を白紙撤回
- 医療・介護・保育などケア労働者の待遇改善
- 中小企業を支援し、最低賃金 1500 円に
- 非正規職員を正規に
- 大企業と富裕層に応分の負担を
- 消費税を5%に
- 学費は半額、給付制奨学金の拡充

2 気候危機打開

- 2030年までにCO2を60%削減

3 ジェンダー平等の日本へ

- 男女の賃金格差をなくす

4 アメリカ言いなりから脱却

- 核兵器禁止条約に参加



野党による政権交代で新しい政治を

なにより、いのち

自公政権と維新の会が旗を振った医療費削減政策と公務員リストラは、コロナ危機で救える命を奪いました。医療崩壊のなか、さらに病床の削減を自公政権と維新は推進しました。

奈良県では保健所は半減、保健研究センターの検査技師は大幅に減らされています。

日本共産党・西川まさかつは、なにより、いのちを守る政治に切り替えます。



消費税5%で地域経済活性化

私は中小業者の営業と権利を守る運動に携わってきました。コロナ禍は容赦なく庶民の暮らし、中小業者の生業を襲い、消費税10%が重くのしかかっています。

新しい政権をつくり、消費税は5%に減税を、地域経済を大切に政治をつくりまします。

日本共産党をのばしてこそ、政治は変わる

コロナ対策の無策、政治の私物化、「政治とカネ」の問題……。菅首相が政権を投げ出し、岸田政権ができましたが、9年間におよぶ安倍・菅政治の継承にほかなりません。

政権交代のために、自民党政治と正面から対決し、対案を示してきた日本共産党の私、西川まさかつをなんとしても国会に送ってください。



プロフィール 1958年1月生まれ、63歳 奈良県立高田高校、立命館大学工学部卒業、橿原市議4期16年、党中南和地区常任委員、橿原民主商工会理事



日本共産党 公認
西川まさかつ

小選挙区は **西川まさかつ** 比例は **日本共産党** とお書きください

国民の皆様へ

コロナ禍で亡くなられた1万8千人もの方々から哀悼の意を申し上げ、感染され心身に大きな傷を負われた170万人の方々から心からお見舞い申し上げます。そして、長期間苦難の日々を家族や仲間と励まし合いながら、我慢よく行動を自制し感染対策を続けてこられた国民の皆様に対し、心から敬意と慰労の意を申し上げます。

一方、この間の政府指導者の対応は、残念ながら後手後手だったと言わざるを得ません。一人でも多くの命を守るという必死さが感じられず、国民が納得できる説明や説得もありませんでした。いま、政治への不信と大きな将来不安を抱えておられるのではないのでしょうか。

私は、「何よりも命を優先する政治」「未来への責任をいま果たしていく政治」を行い、国民生活の現場の声を伝えてくれるNPOなど市民組織と連帯し、「格差のない公正な社会」「弱きものや声なき声にも真剣に耳を傾ける社会」をつくってまいります。

高見 省次 1960年4月28日生まれ (61歳)

東京大学卒業後、富士通(株)を経て(財)国際協力推進協会に勤務。新党さきがけのスタッフとして政治の世界へ。NPO法案を国会に通すため精力的に活動。母親の介護のため東京から橿原へ移住。宇陀市議会議員として行財政改革特別委員長などを務め、奈良県宇陀市長(2018年4月～20年5月)を経て現在に至る。

奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会 会員

- 自治体の行財政改革を推し進め 将来世代への行政サービスの低下を食い止めます
- 公共交通空白地帯の解消に向けた取り組みを進めます
- 生業として営む農家が安定した収入を得られるよう 市場価格の低迷を防ぐ方策を検討してまいります
- 異常気象や大災害を防止するため、脱炭素社会に転換します
- NPOなど市民組織と連帯し 弱きものや声なき声に耳を傾けます
- 関係市町村において、市民組織や行政関係者との意見交換を実施します

未来への責任を
いま果たしていく政治を行います

- 医療体制の強化・水際対策の徹底・経口治療薬の開発など コロナ対策を進めます
- 虐待・いじめ・貧困から子どもの命を守ります
- 格差を是正し、中間所得層を拡大します
- 相談窓口を一元化し、福祉全般的な支援を行う 拠点づくりを進めます

何よりも命を
優先する政治を行います

国民に対して
誠実に向き合う



無所属 たかみしょうじ
高見省次



つなげよう あなたの思い 一票で

投票日

10月31日(日曜日)

投票時間は、午前7時から午後8時まで(※一部地域を除く)

投票用紙の
記入方法

- 小選挙区は **候補者名** を記入
- 比例代表は **政党名** を記入